

ちようぜいにん
徴税人

まいにち せいかつ なか
毎日の生活の中で、どんなことを反省すべきか、思
おも
いついたことをつぎの空白に書いてください。

ちようぜいにん
徴税人

ひとびと なか こうどう はな
イエスさまが人々の中で行動し話しているうちに、

かれ こうどう おも ひと
彼の行動をこころよく思わない人たちがいました。イ

ひはん ひと じぶん
エスさまを批判していた人たちは、自分たちは旧約

せいしょ つた りっぼう ちゅうじつ まも
聖書に伝えられている律法を忠実に守っていると

かんが ひと つみびと
考えていました。そして、律法を守らない人を罪人と

けいそつ
して軽蔑していました。

ちようぜいにん じん かわ じん ぜいきん
徴税人は、ローマ人に代ってユダヤ人から税金を

と しごと いほうじん つか
取る仕事をしていました。そのために、異邦人に仕え

もの つみびと
ている者として罪人とみなされ、みんなからのけもの

にされていきました。

ちようぜいにん ぜいきん あつ とま せいどう
徴税人のなかには、税金を集める時に、正当な

報酬以外に、自分のふところに入れるために、ローマに納める分よりも多くの金額を集めている、不正な人がいましたが、みんながそのようにしていたわけはありません。

イエスさまが徴税人ザアカイの家に泊まったことで、徴税人たちはなぐさめられました。徴税人たちは生活のために仕事をしていましたが、そのためにみんなから罪人とみなされ、うしろめたい気持ちでいつも生活していたからです。

弱い人や、差別されている人の立場に立って考えられない人。自分さえよければいいと考えている人。

このような人は、神さまに受け入れられません。

自分の生活を反省しながら、自分の弱さに気づいて真剣に生きることが大切なのです。

